

とがし博之

とがし博之
Official Website

国政レポート vol.2

ポストコロナを好機と捉え 秋田から日本を変える!

昭和30年、太平山の麓にある秋田市太平山谷に農家の次男として生まれ、地元山谷小学校(廃校)、太平中学校、秋田工業高校(定時制)、秋田経済大学(現ノースアジア大学)へ通いました。

少年時代の記憶には、父が早くに亡くなったことから、祖父母を介護し、幼い兄と私を育てながら田畑を守る強い母親の姿があり、その背中を目で追いながら黙々と農作業を手伝う日々が大学まで続きました。
大学卒業後は、縁あって地元秋田選出の国会議員事務所に秘書として勤めることとなり、私の政治の道がスタートしました。

16年間地元衆議院議員秘書として政治のあるべき姿を勉強させていただきましたが、この時に「政治は、社会の谷間で困窮している人に手を差し伸べるとともに、全ての人が将来に向けて夢を描き、努力した人が必ず報われる社会を可能にする」ということを感じました。

その後、**志を立て39歳で県議会議員選挙に立候補し、初当選。**
以来5期連続(18年)県議会議員を勤めた後、ふるさと秋田の発展をさらに推し進めるため平成24年12月の第46回**衆議院議員総選挙に初出馬**し、大変厳しい状況の中でも多くの皆さんの支えがあり、初当選をさせていただくことができました。

以来3期連続で当選し、国政に送り出させていただいてから9年目となります。**先の通常国会にて3期9年目にして初めて本会議場で自民党、公明党を代表して質問に立ちました。**

私がこの場に立てていることは「**継続は力なり**」という言葉にあるように、時間をかけ積み重ねてきたからこそだと感じております。これからひとつひとつの積み重ねを大事にして秋田発展のために頑張ることをお約束します。

衆議院議員 富樫 博之



プロフィール

昭和30年 4月27日	秋田市太平に生まれる
昭和50年 3月	秋田県立秋田工業高等学校卒業
昭和54年 3月	秋田経済大学経済学部卒業
昭和54年 4月	参議院議員(後に衆議院議員) 野呂田芳成先生秘書
平成 7年 4月	秋田県議会議員初当選(以後5期連続)
平成21年 8月	第62代秋田県議会議員
平成24年 8月	自由民主党秋田県第一選挙区支部長
平成24年12月	第46回衆議院議員総選挙 初当選
平成26年12月	第47回衆議院議員総選挙 当選(2期目)
平成28年 8月	総務大臣政務官(第3次安倍第2次改造内閣)
平成29年10月	第48回衆議院議員総選挙 当選(3期目)

役 職 令和3年4月1日現在

自由民主党秋田県第一選挙区支部 支部長

衆議院 総務委員会【理事】
経済産業委員会【委員】
東日本大震災復興特別委員会【理事】
政治倫理の確立及び
公職選挙法改正に関する特別委員会【委員】**自民党** 副幹事長
運輸・交通団体委員会【副委員長】
政務調査会 地方行政調査会【幹事】
調査会 過疎対策特別委員会【事務局次長】

とがし博之事務所

秋田事務所
(自由民主党秋田県第一選挙区支部)
〒010-1427 秋田市仁井田新田3-13-20
TEL.018-839-5601/FAX.018-839-7911
E-mail:hiroyuki@togachan.jp

東京事務所
〒100-8982 東京都千代田区永田町2-1-2
衆議院第二議員会館1019号室
TEL:03-3508-7275(直通)FAX:03-3508-3725

事務所移転のお知らせ 8月18日～10月21日まで

〒010-0912 秋田市保戸野通町5-31 (旧 北都銀行 通町支店)
TEL.018-838-6065 FAX.018-838-6066

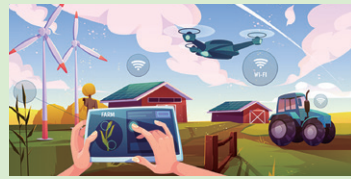
とがし博之は地域の声に耳を傾け地道に実績を積み重ねてきました。

将来を見据えた農業を！

農家の生産コスト低減や高品質化、農作業の省力化を図るために、秋田市南部に「カントリーエレベーター」の事業が進められています。本事業については、秋田市や事業関係者から国の補助金をうまく活用できないかと要請を受け、農水省・財務省に強く要望してきました。その要望が受け入れられて第3次補正で国の《強い農業・担い手づくり総合支援交付金》が満額採択されました。「カントリーエレベーター」が稼働されたのには農家の皆様の利便性向上に寄与することが期待されます。

農業を魅力ある産業として担い手に継承していくためには、農地の集積・集約化、大区画化・汎用化等の農地の利用集積など、中山間地等も含め地域の实情に応じた取り組みが必要不可欠です。

また、スマート農業(ロボット、AI、IoT等)の技術を進めることによりデータを活用した生産効率の高い営農を実行しつつ、消費者の需要をデータで捉え、消費者が価値を実感できるような形で農産物や食品を提供していく攻め(稼げる)の農業への変革を推進してまいります。



県・市連携の文化施設建設

総務大臣政務官時代に新たな時代を見据えた効率的な公共施設の在り方を考え、共同事業を後押しする「公共施設等最適化事業費」の制度を活用し、県と市それぞれの財政負担の軽減や供用開始後の運営管理コストの縮減の改善等に尽力しました。



古川流域の総合的な治水対策と協議会発足に尽力

平成29年7月、8月と連続して記録的な大雨があり、古川流域(牛島、大住、御野場、仁井田地区)では多くの浸水被害がありました。地域の安全と安心を守るため、雄物川・猿田川・古川それぞれを管理する国・県・市の3者が一体となり総合的な治水対策を目的とした「古川流域の総合的な治水対策協議会」の設立に尽力しました。工事の完成は2025年度とし、抜本的な対策を進めます。雨による水害被害が多くなっている昨今、いち早くこの事業を完成させるために国の予算確保に全力をあげ、その対策を前進させます。



手形陸橋の橋梁拡幅工事においても、実現にいたるまでの約23年間予算獲得等に奔走いたしました。

雄物川河川激甚災害対策特別緊急事業

一級河川雄物川では平成29年7月、8月の大雨により2度の氾濫被害が起き、雄物川の治水対策は急務でありました。国における「災害対策等緊急事業推進費」を活用した河道掘削や堤防整備などを実施しながら、特に被害の大きかった雄物川中流部では「河川激甚災害対策特別緊急事業」として、令和2年度から本格的に工事が開始されました。



2022年度の完成を目標に、重点的な堤防整備等を実施しています。



新型コロナウイルス対策

経済や住民生活を支援するために創設された「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」について、特に秋田県に対する予算配分の増額を政府関係省庁へ外向き掛け合ってきました。結果として、県の取り組みにもあったプレミアム宿泊・飲食券発行を始めとする様々な緊急対策事業費としてこの臨時交付金が活用されています。



スポーツで秋田を元気に！
Jリーグ規格スタジアム整備
アリーナ整備
新たなまちづくりを積極的にバックアップ！



2050年カーボンニュートラルの実現に向けて

温室効果ガスを発生させず地球に優しい発電方法として今最も注目されているのが風力発電です。秋田県沖は洋上風力発電に適した安定的な風が吹いており、現在導入に向けて建設・選考調整が行われております。

秋田港の効率的な利用について

秋田県沖でこれから本格的に始まる洋上風力発電事業に関連して、海に建設される風車に必要な羽根や支柱といった大型部材の仮置き場やそれらを組み立てて海に運び出すための専用港の整備が必要不可欠です。その港として秋田港・能代港が昨年9月に全国数ある港の中から拠点港の指定を受けることとなりました。県関係者と共に国の指定に向けて要請を続けてきたことがようやく実を結びました。秋田港の活用が物流・人流を盛んにし地域経済へ良い影響を与えるものと期待しております。



地元秋田への経済波及効果にも期待

先行する秋田県沖の洋上風力発電事業は全国の先進事例として注目されている事業です。風力発電建設にあたっては地域に貢献する事業であることが選考条件になっており、地域との関わりが大切な要件です。

大掛かりな事業になるため、地元企業参入の機会が増大すると共に、20年間の長期保守・メンテナンスは地元が主体となる分野です。

また秋田県内にサプライチェーン(供給網)が構築されることにより、地域経済の波及効果がより期待されることとなります。

- 年間延べ2万5千人の宿泊と飲食が伴います
- 地元雇用は1日最大約250人
- 長期的な保守・メンテナンス作業は地元が主体
- 新産業の創出
- 完成後、視察や見学などで訪れる人の増加が期待されます

国道7号線下浜道路の整備事業に尽力

幅員が狭い上に交通量が多く、朝夕のラッシュ時の大混雑、夏シーズンには海水浴客が訪れ渋滞や事故も多発していました。また地元小・中学生の通学路に指定されていることもあり、近年の通学路での巻き込み事故を考えると安全性確保が急務でありました。

これまで何度も何度も国土交通省へ関連する予算要求をお願いしてきた経緯があり、令和2年3月に開通を迎えた際には地元住民の皆さまとともに喜びあうことができました。

さらには臨海十字路から先の秋田南バイパス2車線区間を4車線化する計画もこれから推進してまいります。



持続可能な社会の実現



●女性が活躍する社会の実現

女性が活躍できる労働環境を整備するとともに、結婚、妊娠、出産、子育て等、切れ目のない支援体制づくりに努めます。

●安全で安心な医療・社会福祉の充実

新型コロナ対策で機能した行政と医療関係団体が連携して取り組む体制をしっかり構築して参ります。また、高齢者や障がい者福祉を充実させ、安心して暮らせる社会づくりに努めます。

秋田の未来を担う子供たちのために！

※GIGAスクールを推進する上で子ども達が自ら進んで意欲的に学習できる環境を整え、意欲を喚起する授業をすることによって一人ひとりに合ったきめ細やかな指導を展開します。分かる喜びや学ぶ楽しさを実感し、誰一人取り残すことのない創造性を育む教育の実現をめざしていきます。

※GIGAスクール＝

小中学生1人に端末1台と高速大容量の通信ネットワークとクラウド等を整備(活用)した教育

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ご利用・ご活用ください

暮らしと命を守る支援策

- 緊急小口資金、総合支援資金
- 住居確保給付金
- 新型コロナウイルス感染症対応 休業支援金・給付金
- 償還免除付ひとり親家庭住宅支援資金貸付
- 職業訓練受講給付金
- 子育て世帯生活支援特別給付金
- 高等職業訓練促進給付金



コロナワクチン情報



秋田県LINE公式アカウント

秋田県新型コロナウイルス対策パーソナルサポート
新型コロナウイルスに関する情報をお知らせします。



秋田県版 新型コロナ安心システム

県内の施設やイベント会場等で感染が確認された場合、必要な情報をLINEメッセージでお知らせします。

